

一般社団法人 全国腎臓病協議会 2017年度（平成29年度）事業計画

はじめに

透析患者をとりまく社会保障制度がかつてない大きな転換期を迎えています。2012年以降、次々に成立した社会保障制度改革関連法によって、医療や介護を中心に、自助、自己負担を基本として自己負担の引き上げや保険給付範囲の縮小など社会保障費の削減、抑制が実施され、この動きは今後も引き続くものと推測されます。さらには、2018年度における診療報酬と介護報酬の同時改定が控えています。

社会保障制度の堅持への取り組みは、腎臓病患者のみならず、他の高齢者や障害者、要介護者らも共通する重要な運動であり、誰もが自分らしく生き、自分らしい最期を迎えられる社会となるよう気概をもって取り組んでいかねばなりません。また、腎臓病患者をこれ以上増やさないための慢性腎臓病（CKD）の予防啓発事業や通院送迎支援、特養などへの入所・入居対策にも引き続き取り組みます。

昨年は、熊本地震で多くの仲間が被災されました。まだ仮設住宅で生活されている仲間もいます。地震をはじめ自然災害に対しては、日頃からの「備え」が重要であり、災害時のネットワーク作り、日頃からの備品・食料の備蓄についての情報提供、災害関連企業との情報交換等引き続き取り組んでいきます。

組織内では、患者の高齢化・要介護患者の増加、患者会活動の後継者不足、患者の意識の変化等様々な背景の中で会員の減少が続いています。社会保障が後退し、様々な権限が市町村に移譲される中、各地域での患者会活動の強化も求められています。特に、患者が高齢化する中で女性や青年層の活性化が求められています。病院患者会の組織強化が地域での活動の活性化につながり、ひいては全腎協の組織強化にもつながります。

組織強化は、活動の基盤であり、その主因である会員の減少は財政運営にも多大な影響をもたらしており、加盟組織と連携して全力で取り組まなければなりません。ついては、単年度だけでなく中長期での収支バランスのとれた財政運営と経費の見直し等に取り組むとともに、会員から信頼される業務運営、コンプライアンスのある運営を目指します。また、昨年スタートした「特区チャレンジ事業」については、組織強化を図るためにも事業規模を拡大し引き続き実施します。

全腎協は、昨年結成45周年を迎えました。先人からの活動を引き継ぎ「一人じゃない。仲間と一緒に、助け合い」を合言葉に、結成50周年に向け諸課題に取り組んでいきます。

これらの課題に取り組むため、次の事業を展開することを提起します。

1. 腎臓病に関する市民公開のシンポジウムや講演会の実施

(1) 2017年度全国大会

日時：5月21日（日）

会場：フェニックス・プラザ（福井市）

共催：福井県腎友会

参加対象者：患者、患者家族、医療関係者、一般市民

(2) 第24回腎不全対策キャンペーン講演会（日程、会場等未定）

参加対象者：患者、患者家族、医療関係者、一般市民

共催：名古屋市臨床疫学研究会、一般社団法人愛知県腎臓病協議会

(3) 腎臓病（CKD）シンポジウム及び講演会等の開催

① 慢性腎臓病（CKD）の予防啓発を目的とした講演会

② 腎臓病患者の栄養、食事管理についての講演会及び調理実習

③ 長期透析による合併症対策講演会

④ 関係団体等の慢性腎臓病（CKD）対策事業への協力

参加対象者：患者、患者家族、医療関係者、一般市民

日時、開催地、講演内容などについて共催団体、企業等と調整中

2. 臓器移植普及・推進のための国民に向けた啓発事業の実施

(1) 2017年度臓器移植フォーラム

日時：10月8日（日）

会場：三の丸ホテル（水戸市）

共催：茨城県腎臓病患者連絡協議会

参加対象者：患者、患者家族、医療関係者、学生、一般市民

(2) 臓器移植普及推進月間（10月）を中心に、市民を対象とした全国啓発キャンペーンの実施

3. 腎臓病に関する無料相談の実施

(1) 専門家（医療ソーシャルワーカー、管理栄養士、認定心理士）による電話相談（フリーダイヤル）事業の実施

(2) 事務局相談担当者による相談事業

(3) 関係団体等の研修会、研究会への参加

- (4) 相談員との意見交換会の開催
日時、会場等については、検討・調整中
出席：MSW、管理栄養士、認定心理士、全腎協役員・事務局担当者

4. 腎臓病に関する情報発信

- (1) 会報「ぜんじんきょう」の発行
年6回、年間総発行数60万部を予定
- (2) 声の会報
年6回、視力障害者等を対象に会報「ぜんじんきょう」を音声化したCDを配布、年間600枚を配布予定
- (3) 書籍の発行
「透析をはじめの人のためのガイドブック」等腎臓病患者の生活の向上に役立つ書籍の発行
- (4) ホームページの活用
腎臓病についての全般的な情報のほか、腎臓病に関する講演会などの開催情報など随時掲載する
- (5) 全腎協PRビデオの作成
- (6) ニュースレター等での情報発信
診療報酬、介護保険、医療保険制度等多様化に対応した情報発信

5. 通院介護対策事業への取り組み

- (1) 通院、入所、入居、在宅治療における課題への具体的取り組み
 - ① 要介護（要支援）透析患者の通院および、公共交通機関の廃止に伴う通院困難者対策への取り組みとして、地域を限定した実態調査の実施
 - ② 通院困難者（重度要介護者）の施設入所・入居対策及び施設見学
 - ③ 在宅透析やサービス付高齢者向け住宅等での透析システムの検討
- (2) 2017年度通院介護研修会の開催
日時：11月4日（土）5日（日）
会場：大森東急REIホテル（大田区大森）
参加対象者：都道府県加盟組織を予定

- (3) 地域での通院研修会の開催
地域を限定し通院調査を行う。調査結果を基に研修会を開催
日時、会場等については、検討・調整中
参加対象者：調査地域及び近隣県組織からの参加を検討中
- (4) 通院送迎事業所研修交流会
事業所の状況報告と意見交換及びNPO法人の運営について研修会の開催
日時、会場等については、検討・調整中
参加対象者：通院送迎事業所、通院介護委員会委員
- (5) 情報発信
 - ① 「はあとなび」の発行等

6. 透析医療の確保、治療と生活の質の向上への取り組み

- (1) 公的医療費助成制度の確保
 - ① 自立支援医療（更生医療）の維持への取り組み
 - ② 都道府県単独事業、障害者医療費助成制度の後退阻止、地域間格差是正のための取り組み、情報を共有し都道府県組織での取り組みを推進
 - ③ いつでもどこでも誰もがが必要な医療・介護が受けられる取り組み
- (2) 2018年度診療報酬、介護報酬同時改定への取り組み
 - ① 国会議員、行政、透析医療関係団体との意見交換、情報集等及び要請・陳情活動への取り組み
- (3) 生活の質（QOL）の向上への取り組み
 - ① 自己管理できるだけの基礎知識の習得（血液検査の数値の意味・食事療法の基礎知識等）及び患者自身への関心度を高めるための取り組み
 - ② 関係団体（日本透析医会、日本透析医学会等）との協調・連携
- (4) 治療選択の拡大への取り組み
 - ① 血液透析療法の選択肢が出来る環境の拡大
患者のライフスタイルに応じ生活の質を向上させる血液透析療法
 - ② 在宅医療の環境整備
- (5) 青年層を中心とした中長期透析でQOLを下げないための青年研修会の開催
日時：8月26日（土）27日（日）
会場：アワーズイン阪急（品川区大井町）
参加対象者：都道府県加盟組織の青年層等の参加を予定

(6) 再生・移植医療の調査

- ① i P S細胞を使った再生医療やE S細胞からの治療薬の研究の情報収集、早期実現を目指した取り組み
- ② 関係団体との連携等

7. 生活・所得補償

(1) 生活出来る年金額の実現への取り組み

(2) 腎臓病患者、透析患者の就労支援

8. 災害対策

(1) 災害時におけるマニュアルの整備の継続
(災害時の通院方法・避難場所・安否情報の発信等)

(2) 災害時の食事管理についての情報提供
災害対策委員会が中心となり災害時食事リストとその活用等について
情報提供を行う取り組み

(3) 災害時を想定した日頃からの自己管理の重要性についての啓発
(日頃の透析治療内容・薬の把握、食物管理、体重管理等)

(4) 行政、関係団体等との連携による広域災害対策への取り組み

9. 調査研究と政策提言

(1) 第47次国会請願の実施 (国会請願集会を2018年3月15日木曜日予定)

(2) 2016年度血液透析患者実態調査報告書の発行 (5年毎)

(3) 第62回日本透析医学会学術集会への参加
日時：6月16日(金)～6月18日(日)
会場：パシフィコ横浜 (横浜市)

(4) 透析医療勉強会 (国会内勉強会)
国会議員、行政、専門医と連携した勉強会の開催

10. 組織的課題への対応

- (1) 一般社団法人としてふさわしい組織基盤の確立
 - ① 一般社団法人としてコンプライアンス（法令遵守）体制への取り組み
 - ② 「事務局ハンドブック」の発行（追加資料）
 - ③ 理事研修会の開催（日程、会場等未定）
理事の業務、責任、義務の明確化等について研修
 - ④ 全国事務局長会議の開催
事務局を運営する責任者の立場から社会保障制度等についてレベルアップを目的とした研修会を開催する
日時：7月8日（土）9日（日）
会場：アワーズイン阪急（品川区大井町）
参加対象者：都道府県加盟組織事務局長を予定

- (2) 組織強化、入会率の増加への取り組み
 - ① 入会案内ポスターの改定と印刷
 - ② 透析医学会学術集会へのブース出展による医師、医療従事者などへの認知度を上げるための取り組み
日時：6月16日（金）～6月18日（日）
会場：パシフィコ横浜（横浜市）
 - ③ マスコミ、企業等との連携による社会へ訴える取り組みについて検討し、具体化を図る
 - ④ ブロック担当理事の役割の明確化への取り組み
 - ⑤ 都道府県組織及び地域を対象とした「特区チャレンジ事業」の拡大と継続

- (3) 事務局体制の整備
 - ① 事務局運営でのコンプライアンス（法令遵守）、ガバナンス（統治・統制能力）体制への取り組み、事務局体制、事務局員の業務・責任の明確化
 - ② 事務局員のスキルアップのため、研修会等への参加

- (4) 中長期の全腎協の運営、財政について検討する機関の設置
会員減少等を鑑み中長期（5年）の全腎協運営について引き続き検討

11. 事業推進のために

- (1) 各種会議の開催
 - ① 社員総会
第4回定時社員総会 日時：6月10日（土）11日（日）
第7回臨時社員総会 日時：11月25日（土）26日（日）

第8回臨時社員総会

日時：3月25日（日）

会場：アワーズイン阪急、大森東急REI

② 理事会

第13回通常理事会

日時：4月22日（土）23日（日）東京

第9回臨時理事会

日時：5月20日（土）福井

第14回通常理事会

日時：9月23日（土）24日（日）東京

第10回臨時理事会

日時：11月11日（土）会場未定

第15回通常理事会

日時：1月27日（土）28日（日）大阪

第16回通常理事会

日時：3月3日（土）4日（日）大阪

会場：アワーズイン阪急、新大阪丸ビル、
ホテルフジタ福井

③ 業務執行役員会

④ ブロック会議

（2）事業推進体制

（3）関係学会等との連携

（4）関係団体との連携